

小児病棟でのボランティア活動



【相愛大学人間発達学部子ども発達学科学生】

相愛大学人間発達学部子ども発達学科では、保育士や幼稚園教諭、小学校教諭となるための勉強をしている4回生が、病棟保育士さんにご指導いただきながらボランティア活動を行っています。活動内容は、プレイルームや各病室で、複数の子どもたちを対象にしたり、あるいは1対1であったりと、状況に合わせて臨機応変に対応しながら、その子どもたちが入院のストレスを一時でも忘れられるよう、あるいはお母さんの居ない寂しさが紛れるよう、遊んだり、寄り添ってお話したりします。具体的には、絵本（大型絵本等）の読み聞かせ、紙芝居の読み聞かせ、簡単な手遊び・うた遊び、エプロンシアター、パネルシアター、指人形、かんたん手品、折り紙、かんたん工作、うた（簡易楽器持ち込み）など準備して活動しています。



なにしておそぶのかなあ〜?

おねえちゃんたちと
いっしょにあそぼうね!

おねえちゃんたちと
いっしょにあそぼうね!

【保護者のみなさまへ】
私たちは、相愛大学 人間発達学部 子ども発達学科の4回生です。保育士や幼稚園教諭、小学校教諭になるための勉強をしています。8月17日～12月18日の間、子どもたちと遊んだり話したりして交流したいと思います。どうぞよろしくお願いたします。
学生(12名)一同

※平成27年度のボランティア活動メンバーのみなさんです。